

令和6年度事業報告書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人TICO

1 事業の成果

アフリカ・アジア地域で地球規模の課題に苦しむ人々の自立支援と持続可能な社会の構築を目指し事業を行った。今年度、ザンビア事業は1回の専門家派遣、カンボジアは4回の専門家派遣と2回の来日研修を行った。また、国内においては、一昨年から開始したウクライナ難民支援のための無料医療相談を継続実施した。なお、ザンビア南部での干ばつ被害に対する緊急支援事業を新たに実施した。

詳細については下記のとおりである。

ザンビア医療協力事業（心臓血管外科手術技術移転事業）

ザンビアの National Heart Hospital において心臓血管外科スタッフへの技術移転を行っている。2017年8月に開始した当事業はこれまでに12回のザンビアでの現地活動と現地医療スタッフを日本に招いて3回の本邦研修を行ってきた。事業開始当初は、ザンビア大学付属教育病院での活動であったが、第8回活動からは活動場所を、National Heart Hospital へ移し、より臨床実践へと変わっている。

具体的な活動内容としては、「年間50例の心臓血管外科手術をザンビア人だけで施行できるようになる」という目標のもと、ザンビアに医師、看護師、臨床工学技師といった専門家を派遣し、現地スタッフの手術、術後管理などの業務と一緒に遂行することで技術移転を行っている。当事業は当初5年、2022年末までの予定であったが、コロナウイルス感染症によるパンデミックのため2年以上活動を休止せざるを得ない期間があったため、延長して活動を行っている。2024年度には1回の現地活動を行っている。

活動実績は以下のとおり。

【派遣】

・第13回活動 2024年8月19日から8月30日まで

1例の心房中隔欠損閉鎖手術、1例の複雑心奇形根治術、4例の僧帽弁置換手術、1例の大動脈弁、僧帽弁同時置換手術の計7例の麻酔、手術、人工心肺操作、手術の直接介助、術後ICU管理、病棟管理に指導的助手として立ち合い、毎日、活動内容の評価表を作成し、現地スタッフと共有した。活動の最後にはレビュー会議を行った。

多くの手術を経験することで、現地の医療チームには大きな経験になった。また、手術時間は少しずつ早く、安全になってきていると評価している。

医師2名、看護師1名、臨床工学技士2名、調整員1名

カンボジア医療協力事業

JICA 草の根技術協力事業「カンボジアの救急医療に係わる研修コース・試験制度の構築と市民への応急処置の普及事業(平成29年度補正/平成30年度採択)」

カンボジアの北西部、バタンバン州でJICA草の根技術協力事業を2022年9月から実施している。TICOが実施団体のこの事業は、高松市(自治体)が提案団体、バタンバン州保健局がカウンターパートで「カンボジアの救急医療に係わる研修コース・試験制度の構築と市民への応急処置法の普及事業」として3年間実施するものである。事業を計画していた5年前と比べるとカンボジアの保健医療分野は大幅に発展しており、これまで置き去りにされて

いた救急医療分野への関心も高まっている。海外からの支援に頼るしかない状況から、徐々に自国で課題解決していく気配が見えてきた。

2024年度は専門家派遣4回、来日研修1回を実施し、カンボジアでよくある症例のシナリオを作成し、カンボジア人医師が継続的に研修を実施することができるよう動画教材などの制作を進めた。

現在では、過去来日し、研修を受けたメンバーがバットアンバン州保健局でインストラクターとなり、自主的にBLS研修などを開催している。また、バットアンバン病院ではTICOの研修を受けたメンバーが中心となり、ERチームが構成されている。

TICOが支援に入る前と今とでは救急医療分野の状況が劇的に変化し、現地の関係者は、今後も良い将来像が容易に想像できると口を揃えて言う。また、これまでは重傷者が来たら「救えない」と諦めていたのが、「救える」「救おう」という意識に変わってきたという返答であった。当事業の大きな成果であると言える。

活動実績は以下のとおり。

【派遣】

① 2024年8月13日～8月21日

バットアンバン州保健局、モルセイ病院の2か所でCPR、固定、スコープストレッチャーの使い方などを指導。

派遣者:高松市消防局 救急救命士 一二三氏/飯田氏、岡山大学病院高度救命救急センター クリティカルケア認定看護師 三橋氏、新田(プロマネ)

② 2024年10月26日～11月3日

日本の映像制作会社のディレクター兼カメラマンとともに動画制作

上谷医師による小児の呼吸障害、宮坂医師による尿道結石に関する講義

派遣者:技術専門家 上谷医師、技術専門家 宮坂医師、新田(プロマネ)

③ 2025年1月7日～1月14日

上谷医師による小児の呼吸管理とマノメーターの使い方、田淵医師による救急におけるエコーの活用について講義と実習を3日にわたり実施。ほか、来日研修の事前打ち合わせ。

派遣者:技術専門家 上谷医師、技術専門家 田淵医師、新田(プロマネ)

④ 2025年2月23日～3月3日

保健省で昨年できた救急のインストラクターチームにバットアンバン保健局から派遣依頼をし、1日の研修を行った。翌日はTICOが育成したバットアンバンのインストラクターがバットアンバン病院のER、ICUのスタッフを対象にBLS研修を実施。

また、当事業で制作するテキストや救急医療に関する用語の辞書について、保健省の救急担当者救急医療学会の会長と面談。

派遣者:新田(プロマネ)

【来日研修】

① 2024年6月30日～7月13日

バットアンバン州保健局ほか病院、ヘルスセンターの医師3名と看護師4名を日本に招き研修を実施。

② 2025年3月9日～3月25日

バットアンバン病院、サンパオルン病院の医師5名、バットアンバン州保健局の看護師1名を日本に招き研修を実施。

ウクライナ支援事業

- 日本国内の避難民への無料医療相談事業

日本に避難してきたウクライナ人への支援として、ホームページを介してのウクライナ語対応無料医療相談を継続実

施したが、相談は0件だった。

避難民が来日してから年月が経ち生活も安定した影響か、無料医療相談のニーズが少なくなったと考えられるが、ホームページの窓口は継続している。

ザンビア干ばつ被害緊急支援事業

- 飢餓対策としての給食支援
- 井戸設置による水源の確保

昨年、エルニーニョの影響により南部アフリカ地域で発生した史上最悪規模の干ばつ。水源が枯渇し、深刻な食料危機に直面している子どもたちに対する人道支援として、ザンビア共和国 南部州ジンバ市で活動する現地 NGO Kocebuka Community Foundation と学校給食の提供について業務委託契約を締結し、現地の Community School (政府の援助がない学校)1校において学校給食を昨年9月より提供。これにより、出席率の向上と栄養状態の改善が見られた。

また同校には水源がなく、学校から3キロ離れたところにある井戸まで毎日水汲みに行かねばならず、生徒への水提供など色々と問題があったため、TICO ではさらに井戸を提供することを決定。2025年2月より井戸掘削を行い手動ポンプ等を設置して施設が3月に完成。健康衛生に欠かせない水源の提供に、学校及びご父兄、そして地域の皆様からも多くの感謝のお言葉を頂戴した。今後は学校側が管理を行い、修理点検等も随時行うことで、生徒と地域の皆様に活用してもらうことを想定している。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
生活向上の機会を著しく奪われている人々の問題解決への協力事業	ザンビア医療協力事業 ・心臓手術の研修および実施によるOJT	年1回	ザンビア ルサカ市	7人	ザンビア共和国 National Heart Hospital /住民人2千人	6,351
	カンボジア医療協力事業 ・JICA草の根技術協力事業 カンボジアの救急医療に係わる研修 コース・試験制度の構築と市民への応 急処置法の普及事業	年7回	カンボジア 共和国 バタンバン州	11人	バタンバン州 医療従事者 及び 住民3万人	22,617
	ウクライナ支援事業 ・ウクライナ避難民支援 ・日本国内の避難民への無料医療相談	通年	日本国内	3人	ウクライナ避難民 2000人	120
	ザンビア干ばつ被害緊急支援事業 ・飢餓対策としての給食支援 ・井戸設置による水源の確保	通年	ザンビア ジンバ市	1人	ジンバ市 Mutaba Community School 生徒及び 地域住民 300人	1,357

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
国内での開発教育に関する事業	広報活動 ・ホームページ ・facebookの更新	年1回 通年	事務局	5人	日本国内の支援者 300人	19
	地球人育成事業 ・地球人カレッジ ・講演会	年1回 年1回	事務局	3人	徳島県民300名 日本国内の支援者 100名	23
他の市民活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、相談、助言等の事業	他の市民活動を行う団体との共同支援活動、他の市民活動を行う団体への相談、助言	随時	事務局	1人	他の市民活動を行う団体(約20団体)	0
	事務局運営(管理費)	通年	事務局	1人	全事業対象者	335

(2)その他の事業

実施した事業はありません。